

来年度の manaba の準備、始めませんか？



早いもので今年も残すところあとわずかになりました。manaba の利用者は年々増加しており、専任教員ほぼ全員が manaba を使用している学科も出てきました。とはいえ、「今年度 manaba を使おうと思ったけど…」 「使いたい機能があったけど…」 という方も多いと思います。

初心者向け manaba 講習会は来年 3 月中旬～4 月上旬に開催を予定しており、対面の個別サポートも常時行っておりますが、年度末・年度初め（3 月～4 月）は問い合わせが大変混み合います。manaba の利用検討を行うタイミングは、次年度のシラバス記入時期の前（～2 月中旬）をおすすめします。

対面での個別説明

- パソコンで実際の画面を見ながら操作方法をお伝えします
- 使用したい内容をご相談いただければ、機能のご提案をします

とりあえず説明をききたい
操作方法と一緒に確認したい方向け

個別説明をご希望の方は、**相談内容・説明希望日時をメールにてご連絡ください**

<説明場所> 板橋校舎の場合：百周年記念館 1 階奥の学修・教育開発センター打ち合わせスペース
狭山校舎の場合：日時・場所を調整の上お伺いします



練習用コースの利用

- 実際のコースを使用する前に各機能の操作をお試しすることができます
- 登録者のみがコース内を確認できるので、気兼ねなく操作できます

空いている時間に
個人で練習したい方向け

練習用コース開設をご希望の方は、**下記の必要事項をご記入の上メールにてご連絡ください**

件名：「練習用コース登録申請」

本文：①希望コース名（例「氏名・練習用コース」）②担当教職員 ③教職員利用開始日 ④利用終了日



<<問い合わせ先>> manaba@tokyo-kasei.ac.jp <<対応可能時間>> 9：30～16：30

！ 知って得する便利機能

respon のアンケートは発行済みのフォームを **再利用（複製）** できます！
そのままのフォームでの再利用も可能ですし、編集して質問項目を追加することもできます。担当コースが複数ある場合は他のコースに複製を作成することもできるので、同じ内容を毎回作成する手間が省けます。ぜひご利用ください。

アンケート再利用の手順

- 1 再利用したいカードの右下部にある「再利用」をクリック（図 1）
- 2 カード発行画面の [発行先コース] で再利用したいコースを選択、「発行」をクリック（図 2）
※複製先として選択できるのは [現在のコース] もしくは [これからのコース] です
- 3 アンケート作成画面に移動するので、必要事項を編集したらカードを発行する





活用事例紹介

実際に manaba を利用している教職員の方々の活用事例を紹介します！

家政学部 造形表現学科

教授 押元 信幸

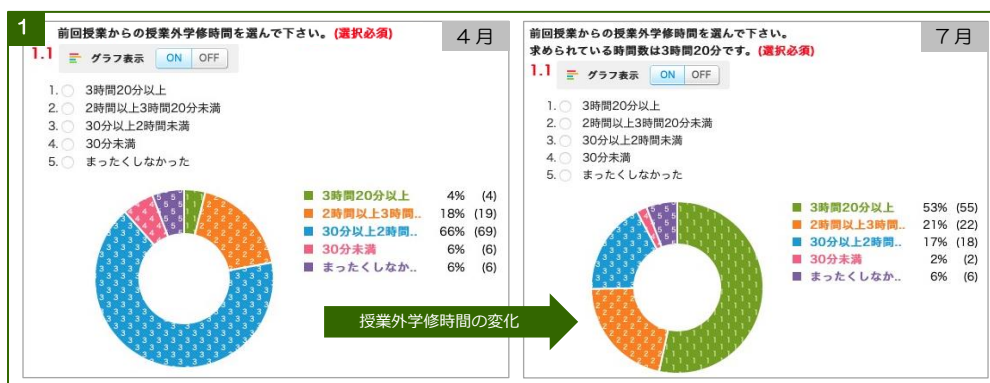
Report
11

「アンケート」を使って授業外学修を共有する

本年度から、新カリキュラム実施に伴いすべての授業で manaba の活用を始めました。講義科目では、前回授業で予習復習のキーワードを伝え、アンケート機能で学修内容を書き込んでもらいました。初めはやる学生とやらない学生が固定してしまったのですが、集計結果をグラフで可視化して共有するなどの工夫を重ねると、徐々に学修時間が増えてきて、最終的に7割の学生が2時間以上（そのうち5割は3時間20分以上）に達しました。（下図参照 1）実習科目でも、能動的な授業外学修を促進するためにアンケート機能を使用しました。「作品のイメージを固めるために本を読んでくる」という宿題では、どんな本を何時間読んで、何を得たか？を問い、さらにグループワークで共有し発表することで、やるべきことを明確にできました。

また、1年生は4限連続の長い実習授業がありますが、小テストに答えたり、コンテンツの動画を観ながら技術をマスターすることで、集中力を維持できました。他にも、ほとんどの授業で作品提出に使用しています。まだまだ試行錯誤中ですが、造形表現学科らしい使いやすい方法を、提案していきたいと思えます。

- 利用規模
延べ 400 名程度
- 授業形態
講義、実験・実習
- よく利用する機能
小テスト、アンケート、レポート、掲示板、コースコンテンツ



Report
12

人文学部 心理カウンセリング学科

教授 福井 至

実験実習のレポートのフィードバックと、講義の小テストに利用しています



- 利用規模
講義・実験実習 70~80 名
大学院 8 名
- 授業形態
講義、実験・実習
- よく利用する機能
小テスト、レポート
respon（出席・アンケート）

manaba は、最初は respon の出席のみを使っていましたが、徐々にレポートの機能や小テストの機能なども使うようになり、便利に利用させてもらっています。

心理学の実験実習基礎および実験実習においては、実験レポートを manaba で提出してもらい、word の校正機能を使って学生へのフィードバックを書き込んで、manaba 上で返却しています。また、通常の講義においては、授業の最初に respon で出席を取り、授業の最後に毎回その授業内容の理解の確認のために小テストを実施し、すぐに点数がフィードバックされるようにしています。学期末にペーパーテストで総合的な理解度の確認もしていますが、小テストのおかげで学生の予習する率がアップしました。

また大学院の講義の授業では、レポートを manaba で提出してもらっています。さらに、学期末テストも manaba で実施しました。テスト終了後すぐに点数のフィードバックができ、院生に次の課題を早く出せるので今までよりも大変便利になっております。

■ 次回予告

manaba information
1 年間のまとめ
次年度に向けて

■ manaba に関するお問い合わせ先

学修・教育開発センター（板橋校舎 百周年記念館 1 階）
電話番号：03-3961-2062（内線：安積・1270/山本・1290）
Mail：manaba@tokyo-kasei.ac.jp

